

「光技術と技術経営（Ⅱ） —国際競争力回復を目指して—」

（日本光学会光設計研究グループ企画）

わが国の経済は、やや回復基調にあるものの、半導体、デジタル家電などかつて日本が高い国際競争力を発揮していた分野で、いまだに苦戦を強いられています。この状況で、デジタルカメラは一時 80%の世界シェアを持つなど高い国際競争力を保持して来ましたが、しかし、国内市場の飽和や、海外市場の競争激化により、生産規模の縮小を迫られる企業もあり、先行きの厳しさは増す一方です。

このような局面に対し、鋭い問題意識のもと日本の国際競争力回復を目指した技術経営的な現状分析や技術経営手法の提案が各方面で活発化しています。今回、特に、文部科学省の科学技術政策研究の第一人者をお招きし、科学技術基本法に基づくわが国の政策を展開頂きます。そして、上記、技術経営の考え方を先ず解説頂き、続いてデジカメにまつわる技術と産業の動向を技術経営的観点から開示頂きます。最後に、大躍進中の中国経済事情の紹介を踏まえながら日中経済の補完性の見通しを説いて頂きます。

積極的なご臨席とご討議へのご参加をお願いいたします。

【日 時】 2006年3月23日（木） 13:00～17:20

【場 所】 武蔵工業大学（東京都世田谷区）6号館地下6B2教室（ZF会場）

詳細は、応用物理学会誌2006年3月号、または、ホームページ

<http://www.jsap.or.jp/activities/annualmeetings/2006spring.html> をご参照ください。

プログラム

- | | | |
|-------|---|---------------------|
| 13:00 | 1. イン트로ダクトリートーク
:「虫の目、鳥の目、魚の目」 | ○立野 公男（文部科学省） |
| 13:05 | 2. 俯瞰的科学技術予測と重点化政策
—第3期科学技術基本計画の展望 | ○桑原 輝隆（文部科学省） |
| 13:40 | 3. 技術経営におけるフォーサイト・マネジメントの重要性 | ○香月 祥太郎（立命館大学） |
| 14:15 | 4. 日本におけるデジタルカメラ産業
: デジタルスチルカメラと携帯電話カメラの動向 | ○N. Cavasin（早稲田大学） |
| 14:50 | 休憩 | |
| 15:05 | 5. デジタルカメラのトレンドを創る！ | ○中山 仁（カシオ計算機） |
| 15:40 | 6. 日本のもの造り —デジタル家電を事例に— | ○伊藤 宗彦（神戸大学） |
| 16:15 | 7. 中国：消費市場の拡大と日本企業の課題 | ○徐 向東（キャストコンサルティング） |
| 16:50 | 8. パネル討論（30分） | |

【主 催】 応用物理学会

【企 画】 日本光学会 光設計研究グループ [代表 丸山 晃一（ペンタックス）]

<http://www.opticsdesign.gr.jp/>

【参 加 費】 第53回応用物理学関係連合講演会（有料）に参加される方は、自由に聴講いただけます。

【事前申込】 不要です。直接会場においでください。

【問合せ先】 キヤノン（株）宇都宮光学機器事業所 半導体機器412設計室 石井 弘之

〒321-3292 栃木県 宇都宮市 清原工業団地 20-2

TEL 028-667-5711(代)、FAX 028-667-9325、E-mail aps53@opticsdesign.gr.jp